

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

デイリー・ジーザス・ニュース #134

1. イエスは弟子たちに二度目に自身の死について教える

マルコ9.30-32（並行テキスト：マタイ 17.22-23。ルカ9.43B-45）

30 ^M彼らはそこを去ってガリラヤへ旅立ちました。イエスは彼らがどこにいるのか誰にも知られたくありませんでした。31 弟子たちに教えていたからです。彼らがガリラヤに集まったとき、彼は彼らに言った、

^L「これから私が話すことを注意深く聞くように命じます。^M人の子は人々の手に引き渡され、殺されます。そして三日の後に復活します^{MT}を人生に。

32 ^Mしかし、彼らは彼の言っている意味を理解しなかったし、それについて彼に尋ねることも恐れしました。^Lそれは彼らから隠されていたので、彼らはそれをつかむことができませんでした。^{MT}そして弟子たちは悲しみに満たされました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	カイサリア・フィリピからカペナウムへの南への旅
タイムライン	9月（33月）
イエスの生涯の文脈	第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する
	C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える
タイトル	1. イエスは弟子たちに二度目に十字架について教える

コメント：

イエスは過去4ヶ月半、ガリラヤから「撤退モード」で過ごし、北方への2度の長旅行と、ガリラヤ南東部のデカポリスへの1度の巡回旅行をされました。これらは異邦人の居住地でした。主は数ヶ月にわたる旅と人里離れた場所での隠遁生活を通して、弟子たちの訓練に専念しておられました。そして今、イエスは南のユダヤ、ペレア、そしてエルサレムへと出発する前に、最後にもう一度ガリラヤに戻られたのです。エルサレムでイエスは地上での最後の8ヶ月を過ごされることになります。

が隠遁生活を送っていた期間における、弟子としての最後の教えを構成する7つの聖句の連続から始まります。イエスの宣教は、もはやガリラヤでイエスのもとに集まっていた大群衆への奉仕ではなく、十二使徒、

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

そしてより広い弟子たちの交わりに身を捧げておられました。ガリラヤでの残りの日々は、弟子たちに、ご自身の死と復活の後、イエスに仕える備えとなる重要な教訓を教えることに充てられました。

イエスは旅の途中で弟子訓練を始め、メシアとしての死と復活を二度目に強調しました。イエスは数ヶ月前、フィリポ・カイサリア近郊でペテロの「大告白」の場で、十二使徒に初めて十字架について教えました。彼らはその時、イエスの教えを受け入れることができませんでした。今、イエスが同じことを二度繰り返した時も、彼らは理解することも信じることもできませんでした。イエスはそれを知っていましたが、それでもご自身が死に、そして復活するという事実を彼らに思い起こさせることをやめませんでした。この繰り返しは、イエスの死と復活が実際に起こった後、彼らが最終的にその意味を受け入れるために重要でした。

ペンテコステ以来、すべてのキリスト教徒はイエスの死と復活に基づき、イエスを主であり救い主であると信じています。十字架は、イエスに関する聖書的、歴史的解釈、そしてイエスと私たちの関係において中心的な役割を果たしています。しかし、地上での宣教活動においてイエスをメシアとして信じた最初の弟子たちにとってはそうではありませんでした。

私たちが今日当然のこととして受け入れているものは、あまりにも衝撃的で、神の性質と救世主の役割に関する当時の弟子たちの理解とは相容れないものであったため、彼らにとって受け入れることは不可能でした。しかし、イエスは時間をかけてその真実を受け入れられるように弟子たちを備えさせることを止めませんでした。なぜなら、弟子たちがわずか8か月後にイエスの死と復活の現実と直面することは避けられないとイエスは知っていたからです。

イエスが弟子たちを、当時信じられなかったことや理解できなかったことに備えて準備させたように、イエスは私たちにも将来の現実を受け入れられるよう、前もって準備し、教えてくださるのです。あらゆる霊的訓練と成長は、まさにこれと似ています。

神が私たちのために用意してくださっているものを、私たちは想像したり、思い描いたりすることはできません。ですから、神は聖書を通してそれらについて私たちに語り、私たちの人生経験と聖霊の教えを通して、私たちが最初は理解できないことを最終的に信じ、経験できるようにしてくださるのです。

応用：

弟子たちがまだ信じられなかった時に、イエスがご自身の死と復活について教えられたことは、私たち一人ひとりにとって力強い励ましとなります。イエスは今まさに、私たち一人ひとりの人生において、同じように恵み深く働いておられます。私たちが今は想像もできないことを信じ、経験できるよう、私たちを備えてくださっています。イエスは、ご自身が最もよくご存知の方法で、私たちの信仰と理解を成長させてくださっています。

私たちを混乱させたり、当惑させたりしていることを理解しようと苦闘するのは、神が私たちを神を知る者として成長させてくださっている証拠です。それは絶望の理由ではなく、希望の理由です。神は、すべてを神の視点から、神の完全な理解力で見える能力を私たちが成長させてくださるにつれて、必ず私たちに明らかにしてくださいます。私たちは神がそうしてくださることを信頼できます。

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える